



# 漕代小学校だより

松阪市立漕代小学校 令和3年9月21日(火) NO.11

<http://www.koishirosho.com>

E-mail: [koishiro2es@matsusaka.ed.jp](mailto:koishiro2es@matsusaka.ed.jp)

校長 橋本 恵美子

学校は、友達と一緒に勉強したり遊んだりして学びを深めていく場です。お互いの顔を見ながら、それぞれの考えを出し合い、議論しあい、共感しあい、深め合うことができることが何よりです。しかしながら、このコロナ禍の先の見えない今、子ども達の学びを止めないための手段の一つとして、4日間のオンライン授業を実施しました。一定期間、児童同士の接触機会を減じることで新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、松阪市内の小中学校が一斉に行いました。前半2日が終わりましたが、今回のオンライン授業では、保護者の方々にも多くのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。私たち教職員は、見えてきた課題を解決しつつ、オンライン授業の方法を模索し、危機にも備えていきます。また、地域学習、他校との交流学习にもオンライン授業を取り入れていこうと思います。

ホームページで子どもたちの「日々活動の様子」だけでなく、「学校だより」、「CSだより」、「お知らせ」等を掲載しています。「お知らせ」には、コロナ禍のため松阪市教育委員会から出された各種通知なども載せております。ご覧ください。

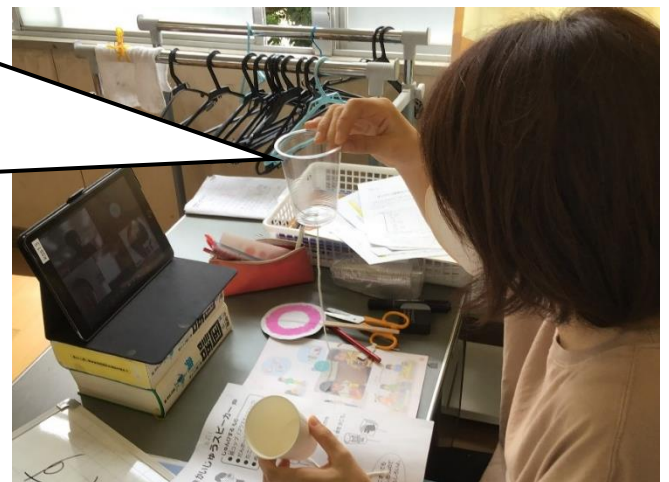
## オンライン授業の様子

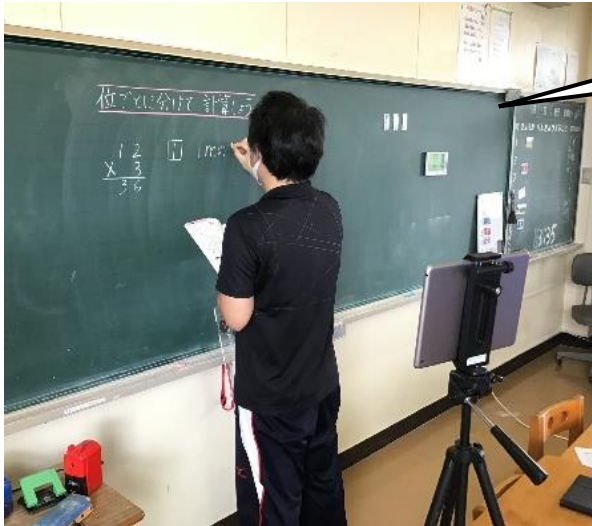


1年生では、「国語」の時間に音読をしていました。大型モニターからは、子どもたち一人一人のはっきりした声が聞こえてきました。みんな、上手に読めていました。

1年生も、タブレットも使えるようになり、ずいぶんしっかりしてきたなあ、と思いました。

2年生では、「生活科」の時間でした。藤田先生に「こうやって作るよ。」と見本を見せてもらって、各々が真剣な顔で作っていました。はじめは、「あれ、出来やんなあ。」「難しい。」と頭をひねっていましたが、「〇〇さん、反対やな、逆にしてみて。」など声をかけてもらって、上手にできていました。





3年生は「算数」の時間でした。

3年生も4年生もまるで、同じ空間で学習しているかのように、黒板を使って学習し、自然に子供たちの声もタブレットから聞こえていました。

5年生は「社会科」の時間でした。タブレットから資料を送り、それをもとに考え合っていました。



4年生は「国語」の時間でした。



6年生は「道徳科」の時間でした。意見を出し合い、聞きあい、考えあっていました。操作にも慣れ、話し合いがスムーズに行われていました。



双方向  
↔

9月に学校が再開しましたが、緊急事態宣言が継続し、登校時の手指消毒、手洗い・マスク着用の徹底、などより一層の感染予防対策をとっています。ご家庭でも、これまで通りお子様の体調管理をお願いいたします。